

## 反射テスト 平面図形 知識 調和平均 0901

1.  $\triangle ABC$  があり,  $C$  を通って辺  $AB$  に平行な線上に  $D$  をとる. ただし線分  $AC$  と線分  $BD$  が交点  $E$  をもつように  $D$  をとる.  $E$  を通って  $AB$  と平行な線と線分  $BC$  との交点を  $F$  とする.  $AB = a$ ,  $CD = b$  とするとき,  $EF$  の長さを  $a, b$  で表せ. 証明もせよ.  
( $S$  級 2 分,  $A$  級 3 分 30 秒,  $B$  級 5 分,  $C$  級 8 分)

2.  $A$  を頂角とする二等辺三角形  $ABC$  があり、辺  $BC$  の中点を  $M$  とする。辺  $AB$  上で  $AB$  の中点と  $B$  との間に点  $P$  をとり、直線  $PM$  と直線  $AC$  の交点を  $Q$  とする。  $AB = a$ ,  $AP = p$ ,  $AQ = q$  とするとき、前ページの調和平均を用いて、 $a, p, q$  の関係式を求めよ。

(  $S$  級 1 分 20 秒,  $A$  級 2 分 40 秒,  $B$  級 4 分,  $C$  級 6 分 )

# 反射テスト 平面図形 知識 調和平均 0901 解答解説

1.  $\triangle ABC$  があり,  $C$  を通って辺  $AB$  に平行な線上に  $D$  をとる. ただし線分  $AC$  と線分  $BD$  が交点  $E$  をもつように  $D$  をとる.  $E$  を通って  $AB$  と平行な線と線分  $BC$  との交点を  $F$  とする.  $AB = a$ ,  $CD = b$  とするとき,  $EF$  の長さを  $a, b$  で表せ. 証明もせよ.  
(S 級 2 分, A 級 3 分 30 秒, B 級 5 分, C 級 8 分)

図 1

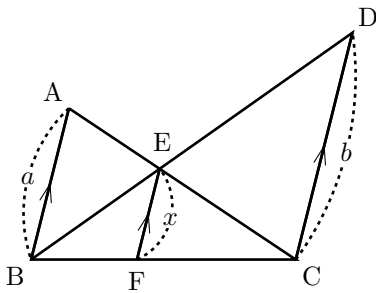


図 1 のように描ければ, 図は OK.

求める  $EF$  の長さを  $x$  とする.

★ 図形の基本は三角形

$x$  を一辺とする三角形の相似を考える.

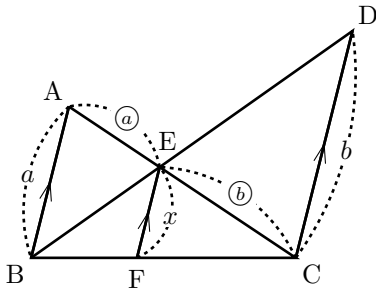
★ 山型相似

$$\triangle CEF \sim \triangle CAB$$

$$\triangle BEF \sim \triangle BDC$$

どちらでも解ける. 前者を使おう.

図 2



ということは,  $EA : EC$  がわかれば良い.

$\triangle EAB \sim \triangle ECD$  より,

$$EA : EC = AB : CD = a : b$$

$\triangle CEF \sim \triangle CAB$  より,

$$EF : AB = CE : CA$$

$$\Rightarrow x : a = b : (a + b) \Leftrightarrow x = \frac{ab}{a + b}$$

★ 調和平均 ( Harmonic mean )

上図 1 の条件のとき,  $EF$  の長さを,  $a$  と  $b$  の **調和平均** という.

$$\text{調和平均 } x = \frac{ab}{a + b}$$

調和平均は次のように変形もできる.

$$x = \frac{ab}{a + b} \Leftrightarrow \frac{1}{x} = \frac{1}{a} + \frac{1}{b}$$

2. A を頂角とする二等辺三角形 ABC があり, 辺 BC の中点を M とする. 辺 AB 上で AB の中点と B との間に点 P をとり, 直線 PM と直線 AC の交点を Q とする.  $AB = a$ ,  $AP = p$ ,  $AQ = q$  とするとき, 前ページの調和平均を用いて,  $a, p, q$  の関係式を求めよ.

(S 級 1 分 20 秒, A 級 2 分 40 秒, B 級 4 分, C 級 6 分)

図 1

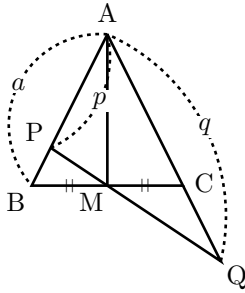


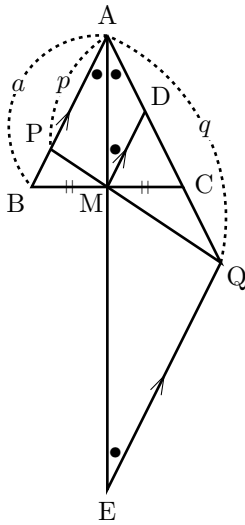
図 1 のように描ければ, 図は OK.

★ 調和平均 の形から平行線の補助線が必要.

★ 補助線の基本は, 延長・平行・垂直

延長線・平行線で, 調和平均の形を作ろう.

図 2



AB と平行で, M を通る直線と AC との交点を D とする.

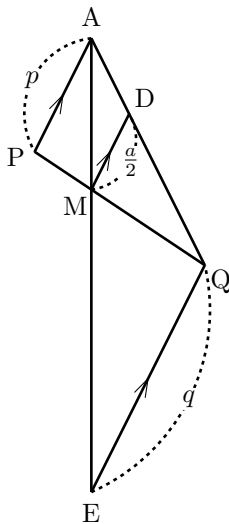
AB と平行で, Q を通る直線と AM との交点を E とする.

平行から錯角は等しいので, 左図 2 のように等角記号が入る.

$\triangle CAB$  に中点連結定理を適用し,  $DM = \frac{a}{2}$

$\triangle QAE$  は二等辺三角形だから,  $QE = q$

図 3



ちょうど左図 3 が, 前ページの★ 調和平均 の形になるので公式が使える.

★ 調和平均 から,

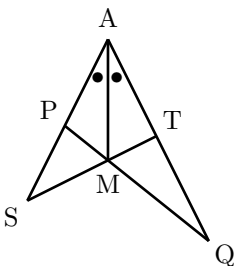
$$\frac{1}{\frac{a}{2}} = \frac{1}{p} + \frac{1}{q}$$

$$\Leftrightarrow \frac{2}{a} = \frac{1}{p} + \frac{1}{q}$$

もちろん以下も正解.

$$\frac{a}{2} = \frac{pq}{p+q} \quad \text{や} \quad a = \frac{2pq}{p+q} \quad \text{など}$$

★シーソーの定理 … ★調和平均の応用



以上のことから, 左図について次のことが言える.

★ シーソーの定理 … 調和平均の応用

$$\frac{1}{AP} + \frac{1}{AQ} = \frac{1}{AS} + \frac{1}{AT}$$